

友の会通信

2005
Vol.
13

～群馬県立自然史博物館友の会～



友の会野鳥観察会

平成17年7月10日(日)伊香保森林公園内

きれいな野鳥の鳴き声と姿に感動!

観察会前日は大雨でしたが、当日は梅雨の晴れ間が顔をのぞかせて「初夏の伊香保森林公園夏鳥の観察会」を行うことができました。参加者は総勢19名で、申込みをされた方が全員参加しました。講師には、日本野鳥の会群馬県支部の金谷道行、土屋 等、阪本俊英の三氏があたり、鳥の本や羽根なども使ってとてもいねいに解説してくれました。

森林の中に入ってゆっくりと耳を澄ませていると、ミソサザイやヤマガラ、イカルなどの美しい鳴き声を聞くことができました。また、黄色いからだが目立つキビタキや木のてっぺんにとまって大きな声でなくホオジロなどをフィールドスコープではっきりと見ることができ、感動の声が聞かれました。

時々霧が舞い降りてくる神秘的な森林の中で、合計で14種の野鳥を確認することができました。また、コース内には「むし湯跡」や洞穴から涼しい風が出ている「ワシノ巢風穴」があり、大自然の不思議さを感じることもでき、大変充実した研修会になりました。



参加者の声

コルリがみたかった。キビタキがみられなくてざんねんだった。
(0592 宮田麻衣)

「コルリ」の青い方を見たかった。「キビタキ」見られてよかった。きれいだった。
(0593 宮田紗季)

あおい鳥が見たかった。「キビタキ」見られなくてざんねんだった。
(0594 宮田啓祐)

当日は、時々霧がかかり、初夏としては涼しい時間を過ごすことができました。鳥の姿はあまり確認はできなかったが、その分さえずりが耳に心地よい一時でした。
(0184 田口 武)

野鳥の観察会とても楽しかったです。お世話になりました。会も終わり、管理棟から車を出してわずか2~300mほど運転したら、前方を何やら黒い鳥が。カラスかなあと思って見ましたら、なんとカケスが反対車線の際のモミジの木に止まってくれました。図鑑で見るよりずっと鮮やかできれいでした!カメラで写そうとしたら後部座席。残念!これはまた見にいっちゃいという事かもしれません。会の最後はきれいなカケスのお見送りでした。
(0570 高間令子)

キビタキが見られてよかった。キビタキが黄色の色できれいだった。
(0186 田口玄武)

キビタキが見られなくてかなしかったです。(0187 田口いぶき)

楽しかったです。(0010 佐藤春利)

特別展

「アフリカの風ー小倉寛太郎サファリ3000日ー」

展示解説会

講師:学芸グループ 指導主事 高橋克之(特別展担当)
期日:3月26日(土) 10:30~11:20

友の会員の参加は6名でした。日本に数体しかないアフリカで生息していたアフリカゾウの貴重な頭骨、今にも動きそうなライオンの剥製、シマウマの皮など見所がたくさんありました。展示資料の細かな解説とともに、裏話を聞くことができました。例えば、外国では筋肉のつき方も計算して今にも動き出しそうに剥製をつく

り、日本の剥製は静止しているように作るなどなど。剥製を改めて見ると、あっ、これは日本でつくられたものだなあというように、剥製を見る目が肥えたような気がしました。予定時間 50 分があっという間に過ぎた展示解説会でした。



毎日暮らしていく中で接している動物は、ヒト、イヌ、ネコくらいになってしまい、もっと他の動物が見たいと思って参加しました。少ない予算の中で、動物の剥製には大変お金がかかることが分かりました。展示品の中では、美しい尾のサルに感動しました。眉毛があるようにクリーニングされ、目を引きました。今後も動物の企画展があつたら参加したいと思います。(17-0023 岡田健美)

展示室の天井の高さを生かすための展示方法の工夫、脇役的な展示物の準備に一番時間がかかったというお話、キリンの骨格標本移動にまつわる命がけ(?)の作業のお話等々、裏話を興味津々で聞かせていただきました。(17-0517 北川真理子)



わかりやすくてとてもよかったです。来年度もよろしくお願致します。(17-0008 狐塚 章)
アフリカのサバンナの動物と風景の写真の説明がよかった。小倉氏の裏話を聞いてよかったです。(17-0010 佐藤春利)



自然だより



生物名	分類	観測日	観測場所	観測者
ウグイス	初音	3月5日	前橋市下増田町	北爪二郎 17-0532
ウグイス	初音	3月8日 14:00	高崎市城山町	大山隆昌 17-0022
ヒバリ	初音	3月9日 7:00	榛名町本郷満行原	柚木 郁 17-0568
ウグイス	初音	3月10日 7:00	榛名町本郷満行原	柚木 郁 17-0568
ツバメ	初見	3月18日	前橋市 JR 新前橋駅	北爪二郎 17-0532

平成17年度「友の会」総会開催

5月14日(土) 参加者 28名

平成17年度の総会が、5月14日午後2時から博物館学習室で行われました。昨年度の事業報告および決算報告、今年度の事業案や予算案が審議され決定しました。また、原会長が御退任され、後任に池下新会長が就任されました。また、新副会長に西田さんが就任されました。新体制は下のとおりです。

平成17年度役員

会長	池下 孝雄	運営委員	市川 悦老	顧問	横田 英一
副会長	川原 英雄		横田 衛		青木 道夫
副会長	西田 隆良		森平 利政		原 浩一郎
監事	山田 利和		角田 寛子	事務局	瀬下 保
	徳江 紀		柚木 郁		上原 久志
			堀越 友子		野村 正弘



新会長挨拶

会員の皆様には改めてご挨拶申し上げます。さる六月十四日に開催されました総会で、原会長の後任として会長に選任賜りました。現在「友の会」の会員数は個人、家族、賛助の各単位の合計で約四百名となっておりますが、これら

も会員一人一人の「人類の歴史を探究する心、地球の自然や生物を科学する心」の実践が、さらに充実した楽しいプログラムと活動を通じて円滑で友好裡に実現されることが出来ればと存じます。 池下 孝雄

新副会長挨拶

この度、友の会の副会長を仰せつかりました株式会社ヌカベの西田です。地元富岡の出身であるが故のご推挙と心得ております。

私は幼少のみぎり、富岡の野上地区に住んでおりまして、野山や小川を遊び場に駆け回っておりました。台風一過のある時、大水が出て川肌は無惨にえぐられ、新しい岩がゴツゴツと露出して、私達の良き遊び場を奪われた思いでありましたが、その岩肌に貝の化石を発見したのであります。

採取し理科の先生に見せたところ、紛れもない海の貝の化石とわかり、感動した記憶が今でもはつきり思い出されます。

以来、私は自然の神秘に魅せられた者として、昨今の環境破壊に憂慮しつつ、郷土を愛し、私達の子どもの頃の自然をもう一度取り戻せないものかと、改めて自然とのふれあいの大切さを痛感致した次第です。この度副会長という大役を仰せつかりましたので、郷土群馬のために微力を尽くして参る所存でございますので、よろしく願い致します。 西田 隆良

友の会講演会

平成17年5月14日(土) 参加者 32名

友の会総会に合わせて、長谷川善和館長による「富岡層群のウミガメ -クロベガメの価値-」というテーマでの講演会が開催されました。

クロベガメの化石は、北米やエジプトの新第三紀層からも報告されていますが、富岡層群に属する原田篠層から多量に産出していて、中には極めて保存の良好なものも含まれています。これらの化石を精査することによって、これまで知られていなかった部分が補われ、ほぼ全身骨格の正確な復元がなされたとのことでした。

なお、頭骨口蓋部分の形態の詳細が初めて明らかにされて、クロベガメは海草類を主食としていた可能性が高いと指摘しておられました。講演終了後には、保存の良いクロベガメの実物化石を観察させていただき、富岡層群のもつ化石の豊かさを実感させていただきました。



友の会視察研修旅行のお知らせ

今年度の友の会視察研修旅行は、つくば市にある「国立科学博物館筑波実験植物園」と「地質標本館」を予定しています。期日は平成17年11月20日(日)です。募集案内は後日発送しますので、是非ご参加ください。定員は50人で、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

国立科学博物館 筑波実験植物園

筑波実験植物園の全体の面積は約14万平方メートルあり、日本のおもな植物や私たちの生活にかかわりの深い植物、世界の熱帯や亜熱帯、乾燥地域に生育する珍しい植物など、およそ4000種の植物が植栽されています。ここでは、植物たちの生活しているありさまや、環境によってさまざまな特徴をもっている様子、また、四季によって美しく変化する姿などを楽しむことができます。

地質標本館

日本で唯一の地学専門の総合博物館です。大きく4つに分けられたブースでは、地質標本だけでなく地学全般と地球の歴史・メカニズム、人間との関わりについてわかりやすく展示を行っています。地質調査総合センター(旧地質調査所)の研究成果を、地球科学の主テーマごとにまとめて展示している館です。

新出版物の紹介

第24回企画展図録

「パレオが見ていた大海原」

化石から探る太古の群馬

一般 500円 会員 450円



友の会企画新商品のご紹介

アフリカ動物の絵はがき

今までも絵はがきはありましたが、今回は動物写真家故小倉寛太郎氏の写真をお借りして作成します。迫力あるアフリカの動物が絵はがきになります。ご期待ください。

☆そのほかにも…… 雨にも強いフィールドノートも開発中。詳細は次号にて。



賛助会員

(7月末現在)

以下の法人・個人の方に趣旨賛同いただきました。有り難うございました。

横田英一(1口)
市川会計事務所(1口)
川原英雄(2口)
三栄商事(株)(1口)
野口会計事務所(1口)
(株)藤井繊維(1口)

群馬ゼロックス(株)(1口)
(有)山田会計(1口)
栃山歯科医院(1口)
鈴木会計事務所(1口)
ブリチストンタイヤ高崎販売(株)(1口)
(株)糸庄(1口)

原(株)(1口)
(株)ヌカベ(2口)
ラジエ工業(株)(2口)
秋本建設(株)(1口)
高崎ビューホテル(株)(1口)

富岡ロータリークラブ(1口)
群馬トヨタ自動車(株)(1口)
オリヒロプランテュ(株)(1口)
システム・アルファ(株)(1口)
(株)高長組(1口)
松井総業(株)(1口)

編集後記

本号掲載の野鳥をテーマにした野外観察会に参加しました。自然の中に身を置き、鳥の鳴き声に耳を澄まし、鳥の姿を追う体験は、私どもに欠けている何かを補うようで、心が洗われるような貴重な時間となりました。今秋には、地層や化石をテーマとした観察会が、恐竜の里、神流町で計画されています。楽しく、しかも実りある会となり、会員の交流が深まるものになりたいと思います。今後とも皆さんのご協力を得ながら、充実した「友の会通信」に育てたいと考えています。

友の会通信編集委員 柚木 郁